

みんなの要求みんなて実現！ 広げよう共同の輪！

大阪春闘共闘ニューズ

No.17 2010年2月26日

〒530-0034
大阪市北区錦町2-2
大阪労連気付
TEL (06) 6353-6421

非正規の要求も掲げて 第2回春闘共闘代表者会議

2月25日、第2回大阪春闘共闘代表者会議を開き、要求提出状況や回答指定日前後の行動を交流しました。「春闘共闘」事務局長の宮武正次さんが、春闘前半の取り組みとして、労働者派遣法抜本改正の署名が大阪で5万近く集約していること、「何でも相談会」が引き続き地域で共同して取り組まれていること、資本金100億円以上の企業4社が大阪労連との懇談を受け入れたこと、最低賃金引き上げでは、「中小企業を支援して最賃引き上げを」に共鳴した大商連から67筆の団体署名が寄せられたことなどが紹介され、「企業内でたたかう春闘ではなく、地域にうってでる春闘を」と呼びかけました。

12単産の発言を紹介します。

化学一般

賃金底上げのため、企業内最賃として誰でも1000円を要求。賃金だけではなく、「心の健康保持・増進」の協定書を使用者とかわすことを目指している。3・18は17日の回答次第ではストライキも検討中。

大阪国公

2月18日、国公労連で政府と人事院に要求書提出した。正規は1万円以上、非正規は時間給100円以上のアップを要求。3月15日の週は近畿事務局に要求書提出予定。3・18は休暇も含めて参加を指示している。

建交労

2月24日に要求提出。中小企業が多く、業種も多様なのでまとまって行動する。トラックは一時金でも3割が回答なしかゼロ回答。生コンも公共事業の縮小で稼働日数が減り、1か月で10日しか仕事がない月もある。企業内のたたかいでは展望がない。外にうって出ないと。

大企業の内部留保を具体的にどう還元させるのか労働者にわかるように示してほしい。

JMIU

2月25日要求提出した。3月10日が回答指定日。11日と18日に統一行動。中小企業が多く、3割操業のところもある。経営者自身も苦しく、経営者と一緒に考えていかないといけないと思っている。

郵産労

賃金要求は、正社員2万円、パート・非正規は時間給200円アップ。

「非正規の正社員化」も要求している。21万人の非正規労働者がいる。JP労組は賃上げ要求もせず、非正規の処遇改善は言うが正社員化は言わない。亀井大臣の「郵政民営化見直し」発言も追い風になっている。2月28日は、朝中郵前で宣伝し、午後集会、3月4日は本社に署名提出する。

今日、西淀で春闘共闘の宣伝をした。ティッシュに西淀川労連のチラシを入れたが、得の字が目立って注意をひいていた。

(右の写真)



自交総連

3月17日が回答日。タクシーの大幅減車を求めて4月中旬に全国統一ストを行う。観光バスの増えすぎをどう減らすかも政府に検討させていく。

自治労連

2月26日統一要求書提出。3月5日第1回交渉、17日第2回交渉。

府内の各市で臨時非常勤の雇い止めが起こっている。大阪市の非常勤嘱託保育士、茨木市の学童保育指導員の雇い止めなど。

3月18日は地域で官民の取り組みを提起しているが、地域での取り組みがないところは市内の行動に合流するよう提起している。

医労連

2月末要求提出。3月24日回答指定日。3月4日～5日は政府交渉。3月18日は、ナースウェーブ。

午前中は大阪府、労働局と交渉。看護協会とも懇談予定。午後から扇町公園の集会に合流する。

診療報酬が久しぶりに上がったので、賃上げへの要求が強い。第3波行動の3月24日～25日はストライキとともに、議員への医療制度改善の要請行動も行う。

国労

交渉はすでに始まっている。JR西日本は「不況と高速道路無料の影響できびしい。」という姿勢。JR貨物は定昇にまで手をつけることをにおわせている。

3月18日は、昨年の250人を上回りたい。

JRと連合で新入社員を誰一人国労に入れないようにしている。この不当労働行為を追及していく。

通信労組

正社員は33000円、非正規は時間給220円アップが要求。アンケートにもとづいた金額。

NTT労組は賃上げ要求しない。3月18日は4カ所で10時まで時限ストにはいる。

地域子会社に配転された人は、賃金3割減らされ、残業も多く、「会社に殺される」と通信労組に加盟。

「本社並みの労働条件にせよ。」と会社に要求している。春闘では時間外拒否闘争と行う。

民放労連

3月3日に統一要求提出。3月17日の回答を受けて25日統一行動日。すべての局がベア要求できているわけではないが、春闘では、ベア1万円、最賃協定の締結、派遣法の改正が中心課題。朝日放送の阿部さんの高裁判決が4月28日。逆転勝訴を願っている。

全損保

日動火災の雇用破壊のたたかいで勝利和解できた。5年間に520万のビラをまき、裁判所に1万6000枚のはがきを出してきた。これが大きな力になった。

交渉は中央の取り組みとなるが、3月17日に中央委員会。

「地域を元気に！」

2月26日、日本一長い天神橋商店街を、国労会館とグリーン会館の仲間が20人で宣伝行動。黄色いハッピーとエビスさんのうちわも持ち、「最賃を上げて買い物を増やそう」と訴えながら、一時間練り歩き。16筆の最賃署名が集まりました。

